法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援Ｂ型事業

防大開校祭に出店

防衛大学開校祭が４年ぶりに一般開放されました。あすなろ学苑は海軍カレー、海軍カレーパン、食べるカレーラー油、カレーラスク、カレーポップコーンと横須賀名物海軍カレー関連商品をずらりと揃え大盛況でした。

普段は一般人が立ち入りできない防衛大学を見てみたいという方々が全国から集まり、大変賑わっていました。お客様から、「４年前にあすなろの海軍カレーを食べて美味しかったから、今年もあすなろを目指して来たよ」というお言葉も頂戴し、嬉しい限りです。

苑生と職員はイベントの１週間前から、仕込みで大忙しでしたが、210 キロのカレーを完売できた達成感で、疲れも吹き飛びました。

法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ
相談室あすなろ

市民後見人養成講座

室長：岸川江利子

先日、市民後見人養成研修で講師をさせて頂きました。横須賀には「よこすか市民後見人」という独自の制度があります。「よこすか市民後見人」とは、横須賀市社会福祉協議会が主催する所定の研修を修了し、後見人等として適切に活動できると認められ、横須賀市社協に「よこすか市民後見人」として登録された方のことで、現在 50 人程がいらっしゃるそうです。

障がい者の中には、成年後見を受けている方もおります。障がいがあることで、騙されて詐欺的な契約をしてしまったり、お金の管理ができないために搾取されることがあったりと、ご本人の権利が脅かされることが多々あるためです。また、親御さんが金銭や財産の管理をされている場合も、親御さん亡き後のことを考えて成年後見制度を利用される方もいらっしゃいます。しかし残念ながら、成年後見を受けている障がい者はまだ少数です。成年後見制度がわかりにくい、手続きが大変などのイメージがあり、実際に利用するまでのハードルが高いためです。成年後見制度は、障がいを持つ方の生活や権利を守るために重要な制度ですから、より使いやすい制度に改善してほしいものです。横須賀では「よこすか市民後見人」が、少しでも成年後見制度を利用しやすいものにしてくれるだろうと期待しています。

法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム
第一（小矢部）・第二（小矢部）
第三（武山）・第五（若宮台）
第六（平作）・第七（武）・第八（太田和）

第５あすなろの家のお誕生日会

第５あすなろの家のお誕生日会では、誕生日を迎える主役の方が、気になるメニューをリクエストします。今回は、相葉マナブの TV で紹介されていたメニューをご希望されました。韓国風ピリ辛炊き込みご飯と白身魚の中華風キノコ餡かけとチョレギサラダのアジア系の料理のメニューでした。